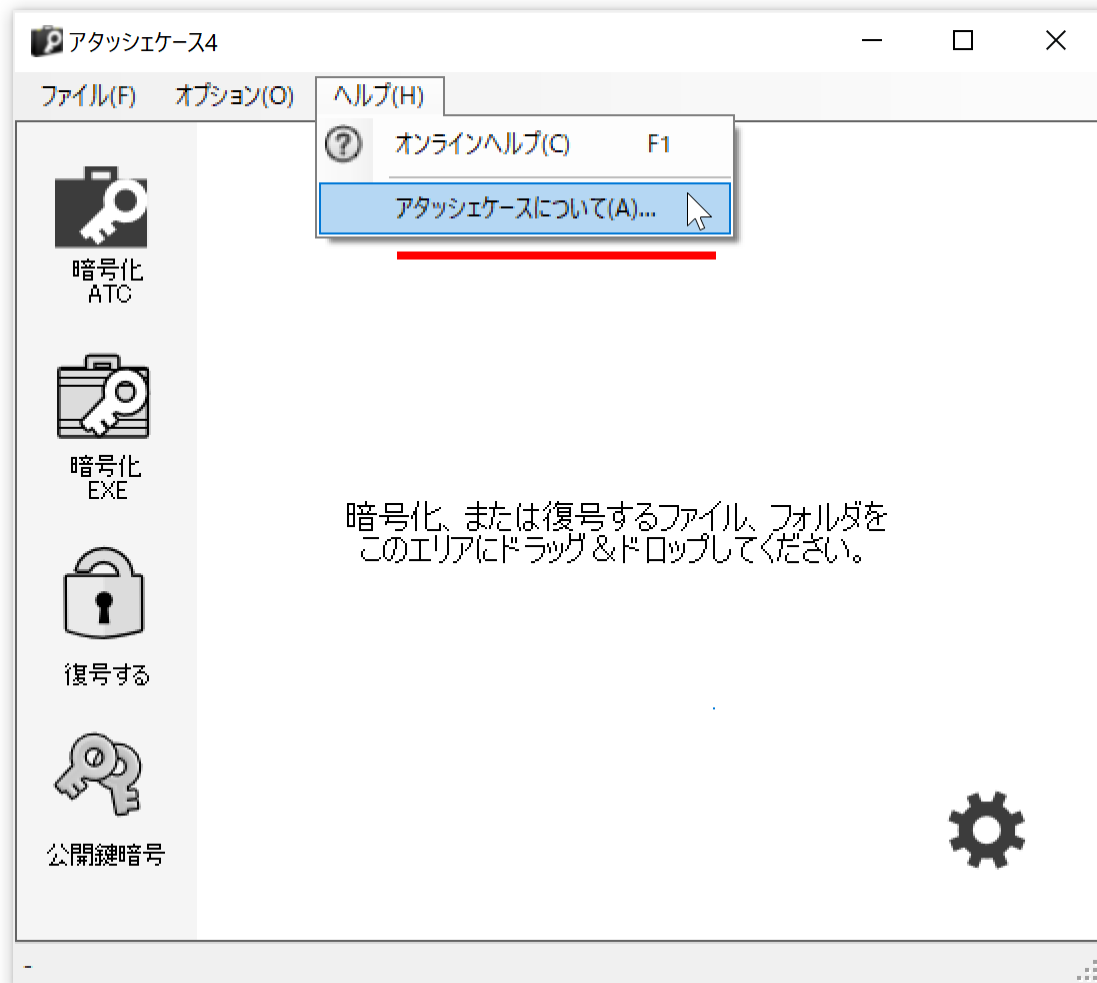


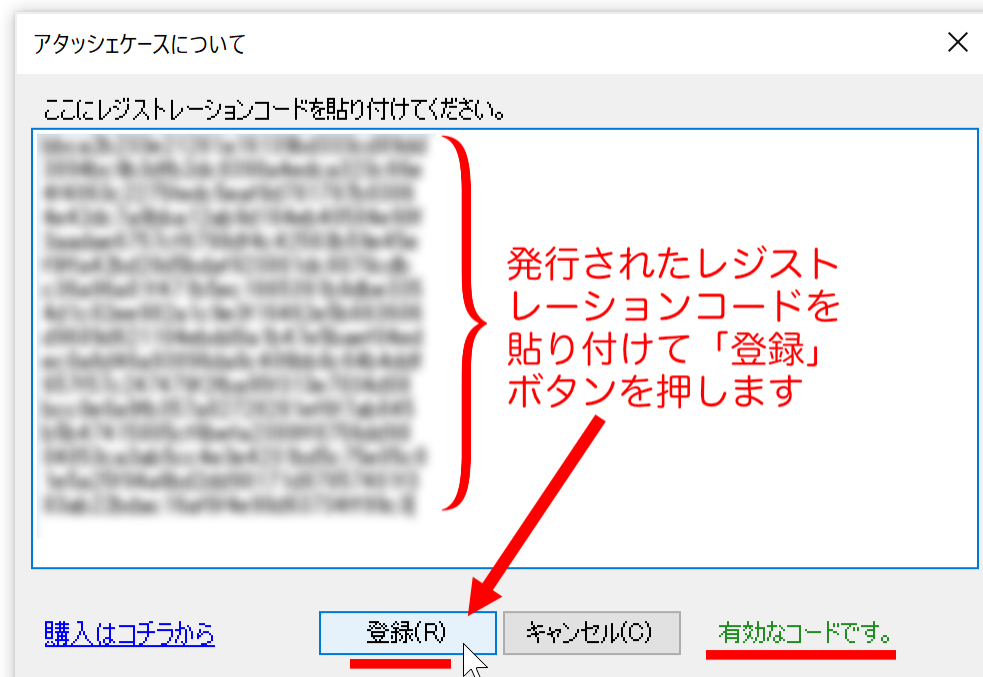
レジストレーションコードを登録する



アタッシェケースの上部メニューからバージョン情報を表示させます。



「商用利用登録」 ボタンをクリックします。



発行されたレジストレーションコードを上の部分に貼り付けて「登録」ボタンを押します。

レジストレーションコードを削除する

レジストレーションコードは使用状況に応じて削除することもできます。



商用利用ライセンスアイコンの上にマウスカーソルを合わせます。



アイコン上で「右クリック」すると、「商用ライセンスを削除」のメニューが表示されますので、それをクリックします。

レジストレーションコードをコマンドラインから操作する

アタッシェケースのレジストレーションコードは、柔軟な対応を行えるようにするため、コマンドラインからのライセンス登録・削除が行えるようになっています。

レジストレーションコードを登録する

/lc=[PATH]

レジストレーションコードが記載されたテキストファイルパスを指定します。

ex). AttacheCase.exe /lc=C:\Users\user1\Desktop\license.txt

相対パスでも書くことができます。

ex). AttacheCase.exe /lc=..\license.txt

※パスに空白が含まれる場合は、

AttacheCase.exe "/lc=C:\Documents and Settings\User1\My Documents\license.txt"

テキストファイルに複数レジストレーションコードが書かれている場合、一番上にあるレジストレーションコードを取得します。一応、16進法に関する文字列

(0123456789abcdef) 以外の文字は無視するので、区切り線やコメントが含まれていても認識されます。

レジストレーションコードを削除する

`/lc=""`

渡す引数に対して空文字を指定します。

ex). AttacheCase.exe /lc=""

存在しないテキストファイルパスを渡してしまうと、エラーが出て処理が止まりますので、あくまで「空文字」を指定することが必要です。

以上